

周南地区林研が「竹林整備実践活動」を実施しました！

令和5年3月1日（水）、光市立岩田小学校のプール横の竹林において、周南地区林業研究グループ連絡協議会（以下「周南地区林研」）会員21名の参加により、「竹林整備実践活動」を実施しました。

この取組は、周南地区林研の自主活動として、周辺環境へ悪影響を及ぼす竹林の整備を地域における模範的な活動として実施し、この活動を通じて、会員同士の交流、技術研鑽や安全作業の意識向上を図ることを目的に行っています。

当日は、山口県東部森林組合光事業本部の木村セクションマネージャーを講師に招き、「安全な竹の伐採方法」と題した講義とともに、「竹林整備活動」を実施しました。

最初の講義では、講師より、民家裏等傾斜地における竹の伐採方法について、実例を基に非常に分かりやすい内容で講義が行われ、会員からも活発な質疑もありました。

続いて実施した「竹林整備活動」では、4つの工程（伐竹、玉切り、枝払い、集積）に分かれ、タイムスケジュール毎に各グループ入替で作業を行いました。会員が連携して予定どおりの作業を行うことができ、実施前とは見違える光景に、岩田小学校の皆さんにも大変喜んでいただきました。

また、新型コロナの感染拡大を受け、ここ2年、地区林研においても満足な活動ができませんでしたが、このたびは、晴天の下で多くの会員が集い、久しぶりに良い汗を流すことができました。

周南地区林研では、今後も会員同士の交流や技術研鑽を図るとともに、地域社会の向上に貢献するために各種取組を進めることとしています。



伐竹作業



集合写真